

共同デスク 20号 (2018年6月17日)

東京国公だより 33号  
関ブロニュース 30号

【電話】 03-3501-6973

【FAX】 03-3500-4391

【Eメール】

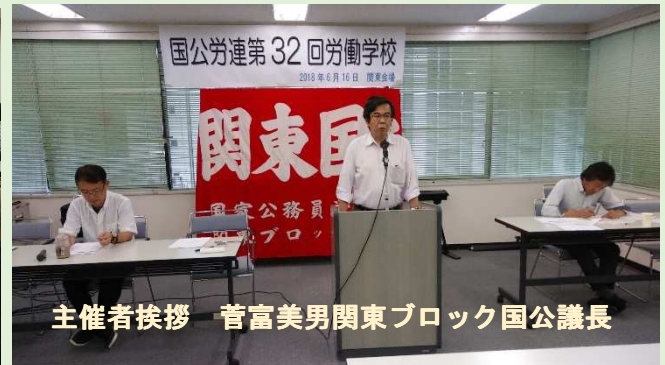
[office@tk-kokko.org](mailto:office@tk-kokko.org)

URL: <http://tk-kokko.org/>

6月16日(土)に国公労連関東ブロック労働学校開校

# 国民の安全・安心の確保のためにも 民主的公務員制度の確立を

18の加盟組織から36人が参加 熱い論議



主催者挨拶 菅富美男関東ブロック国公議長

## 政治権力への「忖度行政」を現場は許さない！

## 憲法 15条「全体の奉仕者」にふさわしい公務員制度の確立を！

6月16日(土)、国公労連5F会議室にて、第32回国公労連関東ブロック国公労働学校が開催されました。

19の関東ブロック国公加盟組織中18の組織から36人が集まり熱心な討議が交わされました。

今回の労働学校は、政治権力への「忖度」から現場行政が歪められ、しかも国権の最高機関である国会に対しては決裁文書の隠ぺい、改ざん・廃棄が平然と行われ、まさに民主主義と国民主権がないがしろにされ、国民の政治、行政への不信が沸騰する中で開催されました。

政治権力への「忖度行政」を現場は許さない、憲法15条にさだめられた「全体の奉仕者」にふさわしい公務員制度の確立を」の熱い思いが込められた労働学校となりました。



冒頭主催者を代表して挨拶に立った菅富美男関東ブロック国公議長は「『付度行政』は許さず、行政、司法を通じて国民の安全・安心を守るためにも、労働基本権を回復し、民主的公務員制度の確立をめざそう!」と呼びかけました。

講師の国公労連岡部勲

←岡部国公労連委員長

市委員長は、国会情勢と人事院勧告に向けた夏期闘争の課題にも触れながら「今まさに公務のあり方が問われ、同時に国公労働運動が国民に注目され期待もされている」ことを強調しつつ、それにふさわしい運動の強化と、「全体の奉仕者」にふさわしい公務員制度確立のための提言（2017年11月22日発表「国民本位の公務員制度を考える」——公正で民主的な公務員制度の確立をめざす提言案——）に対する幅広い議論の組織化を訴えました。

**付度行政を許さない現場力の確立を!**

全体討論の冒頭、菅田保



【⇒特別報告で熱弁をふるう菅田関東ブロック国公副議長】

之関東ブロック副議長が特別報告を行いました。

菅田副議長は政治権力への付度が行政現場にまで及び始めている事態への警鐘を鳴らし、国民本位の行政を確立するためにも、民主的公務員制度の確立をめざして奮闘し、現場から歪みをただそうと呼びかけました。



【現場からの発言】上列 右から伊藤（国土羽田）、田中（国土本省）、古田（国土気象）  
 下列右から林（労働）、関口（司法）、高橋（国税）、水谷（副議長＝閉会挨拶）